

# 經濟産業省

# 成長戦略としての女性活躍の推進

平成28年6月

経済産業省

経済産業政策局経済社会政策室

# 女性活躍に向けた取組

- 成長戦略として女性活躍を推進するためには、企業・経済社会において**女性をはじめとする多様な人材**がその**能力を最大限発揮**し、競争力を高めていくことが必要。
- そのため、**企業の経営戦略**としての女性活躍推進と、**新たな働き方としての起業促進**を進めていく。

## 企業における女性の登用促進

### ダイバーシティ経営企業100選

- 女性、高齢者、外国人等の多様な人材の能力を活かして、経営上の成果を上げている企業を表彰。
- 選定企業：174社  
(24~27年度)



### なでしこ銘柄

- 女性活躍推進に優れた上場企業を「中長期成長銘柄」として、投資家に紹介。
- 経産省と東証が共同実施
- 選定銘柄：45社  
(27年度)



## 女性起業家の支援

### 女性起業家等支援 ネットワーク構築事業

- 女性の起業は、女性のアイデアを活かし、家庭と仕事を両立できる選択肢。
- 多様な支援者・機関（自治体、金融機関等）を中心としたネットワークを構築。（28年度から実施）

- 女性をはじめ多様な人材の能力を最大限発揮させることにより、イノベーション創出等の成果を上げている企業を表彰。ベストプラクティスの発信により、取組の展開を図る。
- 平成24年度から実施し、計174社（大企業93社、中小企業81社）を選定。

## ダイバーシティ経営の意義

① 多様な市場ニーズへの対応

② リスク管理能力（ガバナンス）の向上

④ 労働市場における評価の獲得

③ 資本市場における評価の獲得

## < 選定事例 >

**女性** 日産自動車株式会社（H24選定）

- ・車の購買決定権の6割を占める女性ニーズを設計に反映させるため、女性中心の商品開発により継続的にプロダクトイノベーションを実現
- ・子どもを抱いて乗り降りしやすいよう、**85度まで開く後席ドアを採用し、ガソリン登録車8ヶ月連続販売台数1位を達成**



**働き方改革** SCSK株式会社（H25選定）

- ・長時間労働削減のため、「残業時間削減目標」と「有給休暇取得目標」の達成度合いによって、報奨制度を設定。達成率の高い部署の社員に、ボーナスを増額し、**約4割の残業削減達成**。2年で1.5倍の労働生産性向上。

スマートワーク・チャレンジ20

有給休暇 **20日**取得  
(100%消化)

月間平均残業 **20時間**  
前年度比 **20%減**  
与1日当たり **20分減**

高齢者

外国人

チャレンジド

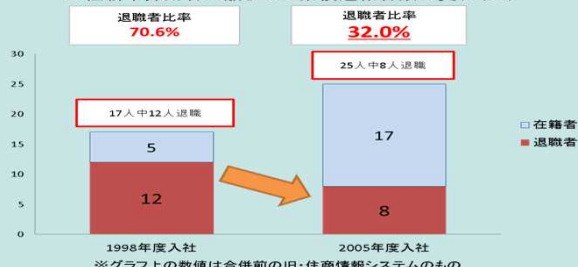
の事例も選定。

# (参考) ダイバーシティ経営による成果事例 「働き方改革」

## SCSK株式会社

- ・長時間労働削減のため、「残業時間削減目標」と「有給休暇取得目標」の達成度合いによって、報奨制度を設け、達成率の高い部署の社員に、ボーナスを増額し、**約4割の残業削減達成**。2年で1.5倍の労働生産性向上。
- ・「働きやすい会社ランキング」で、98位から23位に躍進し、**新卒エントリー数が前年比8.8%増**。

女性新卒採用者30歳までの累積退職者数の変化(人)



↑女性新卒採用者の累積退職者比率が70%から30%に改善。

### スマートワーク・チャレンジ20



## 日本マイクロソフト株式会社

- ・本社移転を機にフリーアドレス制を導入。「テレワークの日」を導入するなど、性別、役職問わず、**全社員に在宅勤務を浸透**させ、コミュニケーションや部下の管理といった不安を払拭。
- ・**ワークスタイル変革**で、社員一人ひとりの**時間当たり生産性が、17.1%向上**。交通費・出張費は1割以上、印刷費は3割以上削減。



ビジネス面での成果(2010年 → 2012年)

## サイボウズ株式会社

- ・「選択制人事制度」(ワーク重視、ワークライフバランス、ライフ重視の3パターンから各自が選択)と、「ウルトラワーク」(在宅勤務制度)により、**時間と場所の制約を超えて働く環境**を整備。
- 離職率が28%から4%に低下**。
- ・社員自身が在宅勤務で培ったグループウェア活用方法やニーズを、営業提案や商品開発に活かして売上に貢献。

名称	概要	備考
PS2(ワーク重視型)	時間に関係なく働く	開発や企画系の人が多い 全社員の72%が選択
PS(ワークライフバランス型)	少し残業して働く	全社員の6%が選択
DS(ライフ重視型)	定時・短時間で働く	全社員の22%が選択

<選択制人事制度>

## カルビー株式会社 (東京都)

- ・工場でのシフトを社員の事情を考慮しつつ改革、また社員の多能工化を進めたことで、年間の生産額が増加し、残業時間も減少。
- ・育休中に課長試験に合格した女性社員は、その後も**時短勤務のまま**で**部長職に昇格**。その後本部長職に登用される際にも、会長自らが「会社は時間を求めている」と背中を押し、現在も毎日16時に帰宅。



- 平成24年度より、経済産業省と東京証券取引所が共同で実施。
- 「女性活躍推進」に優れた上場企業を「中長期の成長力」のある優良銘柄として、投資家に紹介することを通じて、各社の取組を加速化していくことが狙い。

## 〈なでしこ銘柄の概要〉

- ✓ 対象企業は東証全上場企業約3,500社。
- ✓ 業種毎にベスト・インクラスを選定。
- ✓ 評価のポイント

女性活躍  
推進の取組

経営に  
おける実績

## 〈平成27年度「なでしこ銘柄」選定企業：45社〉

カルビー、アサヒグループホールディングス、日本たばこ産業、石油資源開発、住友林業、大和ハウス工業、積水ハウス、ワコールホールディングス、JSR、メック、アステラス製薬、中外製薬、TOTO、神戸製鋼所、DOWAホールディングス、小松製作所、ダイキン工業、IHI、日立製作所、富士電機、富士通、ブリヂストン、日産自動車、テルモ、トッパン・フォームズ、中部電力、大阪ガス、東京急行電鉄、日本航空、ANAホールディングス、KDDI、SCSK、伊藤忠商事、三井物産、ローソン、ユナイテッドアローズ、りそなホールディングス、みずほフィナンシャルグループ、大和証券グループ本社、リコーリース、東京海上ホールディングス、ヒューリック、スタジオアリス、JPホールディングス、トレンダーズ

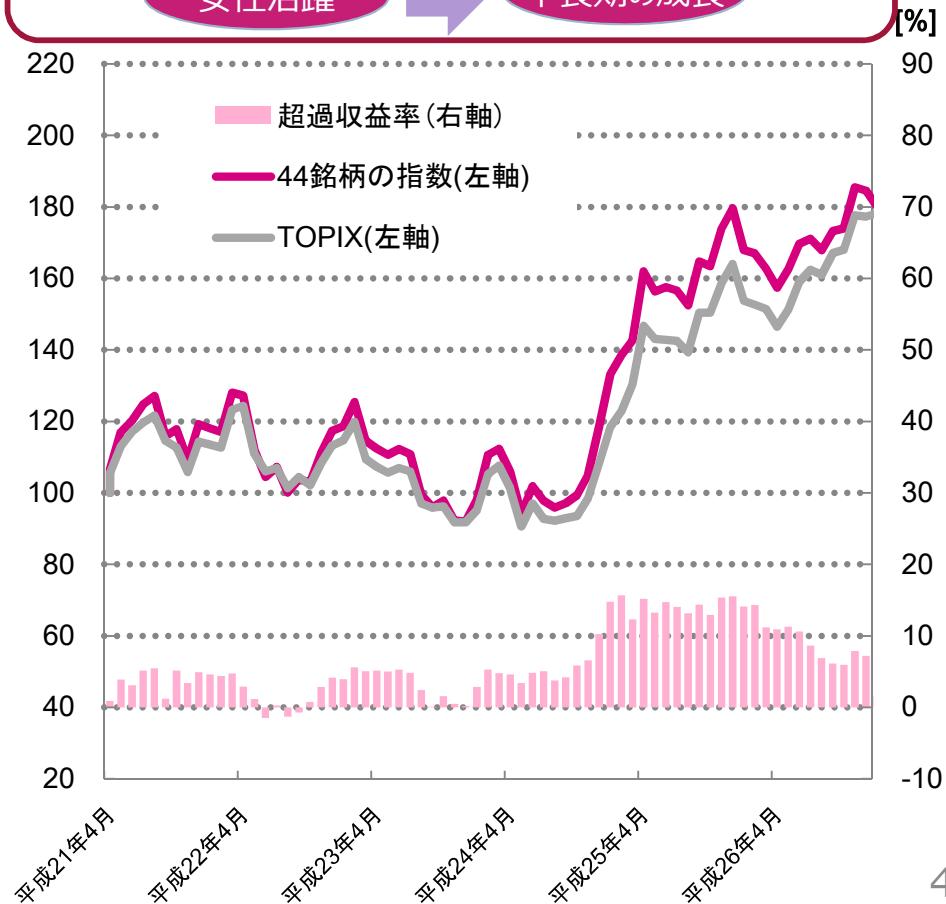
## 〈女性活躍推進に係る取組と株価の相関〉

女性活躍に関するスコアが高い企業（合計44銘柄）の指数は、TOPIXのパフォーマンスを上回っている。

女性活躍



中長期の成長





# ダイバーシティ普及アンバサダー事業

- 優れた取組を行う企業を「ダイバーシティ経営企業100選」、「なでしこ銘柄」として選定するとともに、「ダイバーシティ普及アンバサダー」による普及啓発等を実施する。

## 【ダイバーシティ普及アンバサダー事業】

### <ダイバーシティ経営企業100選>

多様な人材の能力を活かし、イノベーションの創出、生産性向上等の成果を上げている企業を選定。



### <なでしこ銘柄>

「女性活躍推進」に優れた上場企業を選定。  
(東京証券取引所と連携)



### <ダイバーシティ普及アンバサダー>



出席



セミナー、  
シンポジウム  
出前研修 等

女性活躍、  
ダイバーシティの推進を  
進める企業

※エントリー制とするが、一定の活動を義務付け。  
※全国各地域で実施されるイベントにおいて、自社の取組の紹介等、普及啓発の役目を担う。

# 起業に関する女性のニーズと起業家支援の取組について

- 経済産業省では、創業者支援のため、起業のステージに応じた様々な課題解決のための支援策を提供。



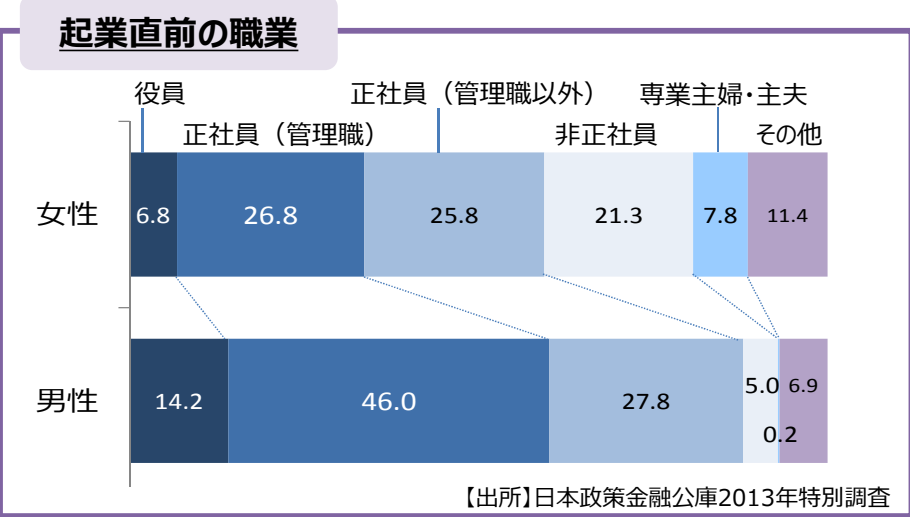
**女性起業家  
飛躍的増大**  
身の丈起業からベンチャーまで

仕事を辞めてから随分経つし、職務経験もあまりないわ。起業に向けて何をすればいいのかしら...

## 女性起業家等支援ネットワーク構築事業 (28年度予算案額：2.0億円の内数)

**創業スクール事業 (28年度予算額：8.5億円の内数)**  
創業者の基本的知識習得のため、全国で「創業スクール」を開催。ビジネスプランの作成までを指導し創業までのフォローアップを行うとともに、受講生を対象としたビジネスプランコンテストの開催等を行う。

私も起業に挑戦したい!



**創業・第二創業補助金 (28年度予算額：8.5億円の内数)**  
地域活性化に向け、地域経済の新陳代謝を図るために新たに起業したい創業者等が行う取組を支援 (補助上限200万円、補助率2/3)

**女性向け小口無担保・無保証創業融資 (日本政策金融公庫 新創業融資制度の拡充)**  
女性の小口創業支援のため、貸付金300万円以下の場合、雇用の創出や勤務経験を問わず、原則として無担保・無保証融資の対象とする特例を2015年2月16日より実施。

**日本ベンチャー大賞**  
インパクトのある新事業を創出した起業家やベンチャー企業等を表彰。女性起業家から応募のあった案件で最も評価の高いものには「女性起業家賞」を付与。

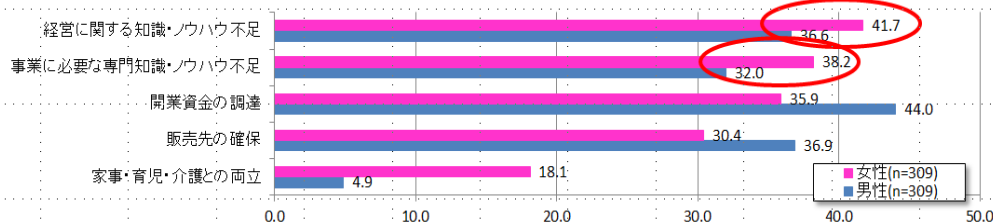


# 女性起業家等支援ネットワーク構築事業 (平成28年度予算額 2.0億円の内数)

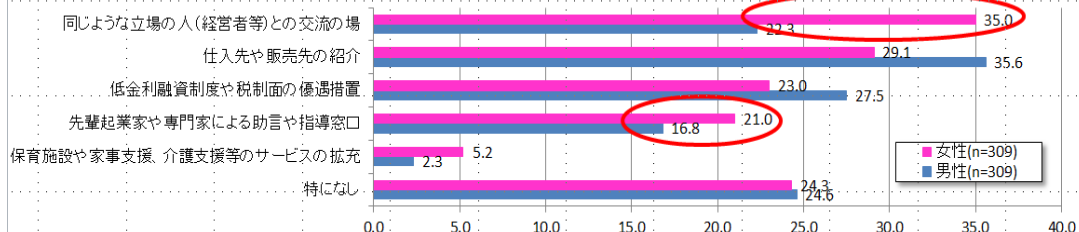
- 女性の起業を支援するため、地域の金融機関や産業・創業支援機関等を中心とした「**女性起業家等支援ネットワーク**」を全国10箇所に設置。
- 起業を志すあらゆる段階にいる女性や、事業成長に課題を抱える創業間もない女性起業家を確実にフォローできる体制をネットワーク内において構築。**既存の起業家支援施策への橋渡し等、女性のニーズに応じたきめ細やかな支援を行う。**

- 女性が起業時に望む支援策としては、「同じような立場（経営者）の人との交流の場」「先輩起業家や専門家による助言や指導窓口」を期待する割合が高く、男性起業家の望む支援策とは違いがある。
- 起業時において、男性は事業の拡大、女性は情報や意見の交換を通じたネットワークの形成を望んでいることがうかがえる。

男女別起業時の課題(複数回答可)



起業時に欲しかった支援(複数回答可)



(出典)経済産業省委託「女性起業家に関するアンケート調査」(2011年3月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱)

